

中学受験

英語長文

/分割

()<>分割

英語長文読解：要点チェック（受験前）

生成日: 2026-01-10 / reading-techniques: docs/private 由来（要約）

注意: 例文は学習用に言い換えています。元の本文の転載はしていません（引用なし）。

参考データ: J_2020_4_sentences.txt（行数 11）を“構造の参考”として使用。

目次（速習）

- 1分：/分割（スラッシュ）で骨格→情報を足す
- 1分：()<>分割で「主節」と「従属節/前置詞句」を分ける
- 実例：フレーズ訳つき（6例）
- 頻出：文内テクニク（10枚）
- 頻出：段落テクニク（4枚）
- 頻出：設問タイプ別（4枚）

/分割（スラッシュ）の使い方：30秒手順

1文を「意味のかたまり」に分けて、順番に“足し算”で読む方法です。

手順（覚える形）

- ① まず主語(S)と動詞(V)に着地（最短で骨格）
- ② 前置詞句（場所/時間/手段）や接続詞（and/because/if）で / を入れる
- ③ /ごとに「ミニ訳」を作って、最後に合体させる

コツ: /で切る目的は“訳の順番”ではなく“情報を落とさないこと”。

()<>分割の使い方：30秒手順

従属節（because/if/that等）を()、前置詞句（at/in/by等）を<>で括って、主節から読む方法です。

手順（覚える形）

- ① () を見つけたら「後で読むメモ」にする（まず主節）
- ② <> は「どこで/いつ/どうやって」を表す“追加情報”として処理
- ③ 最後に()や<>を足して、自然な日本語に整える

コツ: because/if を見た瞬間に()で括ると、主節の意味が崩れません。

実例：/分割→フレーズ訳（言い換え例）

短時間で確認できるように、代表構文だけ6例に絞っています。

例1：場所（前置詞句）を先に固定する

最初の場所情報を/で切っておくと、主語と動詞に早く着地できます。

例文(言い換え) In our town, we have a nice zoo called Sunny Zoo.

/分割 In our town, we have a nice zoo called Sunny Zoo.

()<>分割 <In our town>, we have a nice zoo called Sunny Zoo.

チャンク（/の単位）	フレーズ訳（目安）
In our town, we have a nice zoo called Sunny Zoo.	

例2：時間・追加情報を/で足す（and）

「いつ」「どれくらい」を別チャンクにすると、情報を落としません。

例文(言い換え) It will start at eleven in the morning, and we can enjoy it for thirty minutes.

/分割 It will start / at eleven / in the morning, / and we can enjoy it / for thirty minutes.

()<>分割 It will start <at eleven> <in the morning>, and we can enjoy it <for thirty minutes>.

チャンク（/の単位）	フレーズ訳（目安）
It will start	それは始まる
at eleven	
in the morning,	
and we can enjoy it	
for thirty minutes.	30分間

例3：理由（because）を()で“後付け”にする

主節（言いたいこと）→理由の順にすると、迷子になりにくいです。

例文(言い換え) I can't join the night tour because I have to go home by six.

/分割 I can't join the night tour / because I have to go home / by six.

()<>分割 I can't join the night tour (because I have to go home by six).

チャンク（/の単位）	フレーズ訳（目安）
I can't join the night tour	夜のツアーには参加できない
because I have to go home	

チャンク (Jの単位)	フレーズ訳 (目安)
by six.	6時まで

例4：条件 (if) を()で囲んで判断を早くする

条件を括ると「結論 (料金)」が一気に読めます。

- 例文(言い換え) So, if we show our student cards, the entrance fee will be three dollars per person.
- /分割 So, / if we show our student cards, the entrance fee will be three dollars / per person.
- ()<>分割 So, (if we show our student cards), the entrance fee will be three dollars per person.

チャンク (Jの単位)	フレーズ訳 (目安)
So,	それで
if we show our student cards, the entrance fee will be three dollars	
per person.	

例5：命令・提案 (should/let's) は“行動”を先にする

やること (take/show) を2つの動作として整理すると速いです。

- 例文(言い換え) We should take our student ID cards to the zoo and show them to the staff.
- /分割 We should take our student ID cards / to the zoo / and show them / to the staff.
- ()<>分割 We should take our student ID cards <to the zoo and show> them <to the staff>.

チャンク (Jの単位)	フレーズ訳 (目安)
We should take our student ID cards	私たちは学生証を持っていくべきだ
to the zoo	動物園に
and show them	
to the staff.	係の人に

例6：場所の後置修飾 (in front of ...) は名詞にくっつける

「どの停留所？」を名詞にくっつけると、順番に訳しても崩れません。

- 例文(言い換え) We'll take a bus at the stop in front of our school at eight.
- /分割 We'll take a bus / at the stop / in front / of our school / at eight.
- ()<>分割 We'll take a bus <at the stop in front> <of our school <at eight>.

チャンク (Jの単位)	フレーズ訳 (目安)
We'll take a bus	私たちはバスに乗る

チャンク (/の単位)	フレーズ訳 (目安)
at the stop	
in front	
of our school	
at eight.	8時に

頻出：文内（1文）テクニック

「これを見たらこう読む」を型で覚えると、初見でも崩れません。

S03 挿入句（, ... ,）は一度外して骨格を作る

カンマの挿入は情報追加。まず主語・動詞・目的語だけを取る。

手順

1. カンマで挟まれた部分を括る
2. 括った部分を一旦除いて骨格SVを作る
3. 挿入情報を後付けする

落とし穴

- 挿入句を主節と誤認

S05 不定詞の役割を3分類（名詞/形容詞/副詞）

to不定詞は多機能。名詞用法/形容詞用法/副詞用法のどれかに決めると迷いが減る。

手順

1. to+V を検出
2. 直前が名詞なら形容詞用法候補
3. 文全体にかかるなら副詞用法候補
4. 主語・補語位置なら名詞用法

落とし穴

- 全部“～するために”にする

S08 否定のスコープを括る（not, never, hardly）

否定はどこまで否定しているか（スコープ）が得点源。副詞・数量語と一緒に読む。

手順

1. 否定語を検出
2. 否定される述語・句を括る
3. 限定語（always/all/often等）が否定内か外か確認

落とし穴

- 全体否定と部分否定を混同

S10 受動態は“行為者（by）”を探して役割を戻す

受動は主語が“される側”。必要なら能動に戻して整理する。

手順

1. be+pp を検出
2. by を探して行為者を特定
3. 能動に言い換えて意味確認

落とし穴

- 主語を行為者として読む

S11 that節/wh節は“名詞句”として扱う（内容）

that節は“内容”。主語・目的語・補語のどの位置かを押さえると読める。

手順

1. that/wh を検出
2. 文のどこに入っているか（S/O/C）を判定
3. 『～ということ』で置換して骨格確認

落とし穴

- that を指示語として読む

S14 名詞の後置修飾（with/for/of）を“どれを？”で読む

名詞+前置詞句は名詞を限定する。『どれを？どんな？』に答える部分として読む。

手順

落とし穴

1. 名詞の直後の前置詞句を検出
2. どれを？の質問に答える形で言い換える

- 前置詞句を動詞にかけてしまう

S19 前置詞は“関係ラベル”として読む（原因/手段/対象）

前置詞は訳語ではなく関係。for=目的/対象、by=手段、with=付帯などで整理する。

手順

1. 前置詞句を括る
2. 関係ラベル（手段/理由/対象等）を付ける
3. 文全体の因果・対比に接続

落とし穴

- 訳語暗記で関係を落とす

S20 長い主語は“主語の終わり”を探してVに飛ぶ

長主語はVが遠い。まず主語がどこで終わるかを見つけてVに着地する。

手順

1. 主語部分を括る（名詞句終端を探す）
2. 最初の主要動詞を見つける
3. 主語—動詞だけで一度意味を作る

落とし穴

- 主語途中の動詞っぽい語で誤着地

S22 並列は“同じ品詞/同じ役割”で括る（A, B, and C）

and/or は並列の合図。同じ役割が並ぶので、どこまでが並列かを括る。

手順

1. and/or を検出
2. 同じ品詞・同じ役割で並列範囲を括る
3. 並列全体を一語ラベル化

落とし穴

- 並列範囲を誤って意味が崩れる

S04 分詞構文は“同時/原因/譲歩”のどれかに分類

分詞構文（-ing/-ed）は関係が曖昧。最小で“同時/原因/譲歩”に分類して読む。

手順

1. 分詞句の主語が主節主語と同じか確認
2. 自然な関係（同時/原因/譲歩）を選ぶ
3. 接続詞（while/because/although）に言い換えて確認

落とし穴

- 機械的にbecauseで固定

頻出：段落（パラグラフ）テクニック

段落は“機能”で読むと、主旨と根拠の位置が見えます。

P01 段落の役割を一言で言う（主張/理由/例/反論/まとめ）

各段落は機能を持つ。最初に“この段落は何をしているか”を一言で言えるようにする。

手順

1. 段落冒頭の主張候補を拾う
2. 後半が理由か例か反論かを判定
3. 段落機能ラベルを付ける

落とし穴

- 全部を同じ重さで読む
- 例を主張と取り違える

P02 トピックセンテンスを探す（多くは冒頭）

受験文の多くは、段落の最初の1〜2文に要点（トピック）を置き、残りで具体化する。

手順

1. 最初の2文を要約
2. 以降が具体化か検証

落とし穴

- 最初の比喩や導入をトピックと誤認

P03 段落内の“対比”を見つける（however, but, in contrast）

対比マーカーは論点の転換点。前半と後半を“同じ軸で比較”する。

手順

1. 対比語をマーク
2. 前後の比較軸（利点/欠点など）を一語で言う

落とし穴

- but以降だけ読んで前半を捨てる

P04 因果の矢印を作る（because/therefore/as a result）

因果マーカーは『原因→結果』の矢印で整理すると、設問の根拠が取りやすい。

手順

1. 原因側と結果側を分ける
2. 矢印で1行にする

落とし穴

- because節を背景説明として捨てる

頻出：設問タイプ別（解き方）

本文の読み方と、設問の取り方はセットで覚えるのが最短です。

Q01 主旨（Main Idea）：反復テーマ+結論段落で確定

主旨は“繰り返されるテーマ”と“結論の一般化”の交点で決まる。

手順

1. 各段落のキーワードを2語ずつ拾う
2. 結論段落の一般化を抜く
3. 広すぎ/狭すぎの選択肢を除外

落とし穴

- 印象的な例で主旨を決める
- 1段落だけで主旨を決める

Q02 要旨（Summary）：構造を残して詳細を落とす

要旨は“骨格（問題→原因→提案など）”を保持し、固有の数字・例を捨てる。

手順

1. 本文全体の枠組み（problem-solution等）を決める
2. 各段落を1行要約
3. 例・数字・固有名詞を削って結合

落とし穴

- 例を残して骨格を落とす

Q03 推論（Inference）：根拠2つ+限定語を保持

推論は最低2つの根拠から。限定語（some/often）を落とすと誤りになりやすい。

手順

1. 根拠文を2つ抜く
2. 共通して言えることを1文にする
3. 限定語を保ったまま結論にする

落とし穴

- 根拠1つで飛躍
- 限定語を落として断定

Q04 指示語（Reference）：名詞候補+文候補で確定

this/that/these は物だけでなく“直前の主張や出来事”を受けることがある。

手順

1. 直前2文から候補を列举（名詞/文）
2. 意味が通る方を選ぶ
3. 選んだ候補で文全体が自然か再確認

落とし穴

- 最寄り名詞に機械的に結ぶ